

圏央道（稲敷IC～神崎IC）開通式

4月12日、15:00から圏央道（稲敷IC～神崎IC）が開通しました。それにあわせて当日には、開通式典が江戸崎公民館、開通セレモニーが稲敷東IC、記念植樹が神崎ICで行われました。

開通式典、記念植樹では、神崎中学校ブラスバンド部によるウェルカム演奏が行われ、開通セレモニーでは、神崎小学校6年齊藤杏樹さん、米沢小学校6年佐久間陸君がテープカットに参加しました。



稲敷東ICでの開通セレモニーの様子



きらきら号が通り初めに参加



江戸崎公民館での開通式典の様子



式典でウェルカム演奏をする神崎中学校ブラスバンド部



神崎ICでの森田千葉県知事と植樹記念標除幕の様子

圏央道とは

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約170kmが開通しており、平成26年度中は神崎IC～大栄JCTまでの開通が予定されています。



神崎IC 利根川上空より【NEXCO東日本水戸工事事務所提供】

開通区間図

